



第2期 北本市教育振興基本計画 「共に学び 未来を拓く 北本の教育」

基本目標Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成
基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成

基本目標Ⅲ 質の高い学校教育の推進
基本目標Ⅳ 家庭・地域の教育力の向上

小中一貫教育 学校4・3・2制

北本市では、義務教育9年間を4・3・2年に区分し、「学び」の連続性とともに関連段階に応じた指導を行う研究を進めています。特に小学校5・6年と中学校1年生において、小中学校の教員の授業兼任入れや、小学校において教科担任制を行うことにより、児童・生徒の学力の向上および中1ギャップの軽減を図っています。
また、小学生と中学生が行事や授業で交流を行い、小学生にとっては中学生へのあこがれ、あこがれをもたれる中学生は自分たちの自信に繋がったり小学生への思いやりの気持ちを育てることができるなどの効果も上げています。

学力の向上・中1ギャップの解消・不登校の減少へ



- ☆4中学校区それぞれで校区内共通の課題解決を図る
- ☆小学校高学年で教科担任制を実施(音・理)
- ☆夏休み部活動体験(小学生→中学校へ)
- ☆中学校陸上部による小学生の陸上指導(中学生→小学校へ)
- ☆中学校吹奏楽部による小学生の鼓笛隊指導(中学生→小学校へ)
- ☆ジョイントスクール(小学生が中学校において中学校の授業を受ける)
- ☆小中合同引取訓練

学びを支える多様な市費非常勤職員

☆学校4・3・2制推進非常勤講師

※各校1～2名(計17名)
義務教育9年間は発達段階に応じて、4年、3年、2年に区分し、それぞれの段階における課題克服と義務教育9年間を見通した小中一貫教育の推進のために、小中学校教員の兼務のサポートや、専門性を生かした授業を行います。



☆小学校学力向上支援員

※各校1～3名(計16名)
小学校に教員の指導の補助や児童の学習支援を行う支援員を配置し、きめ細かな指導を推進します。



☆特別支援教育支援員

※各校1～3名(計27名)
市内全小中学校に設置した特別支援学級及び通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して、一人一人に応じたサポートを行います。



☆学校図書館指導員 ※各校1名
人のいる、温もりのある学校図書館づくりを推進します。

☆スクール・ソーシャル・ワーカー ※学校教育課に1名
児童生徒の理解に優れたスクール・ソーシャル・ワーカーを学校教育課に配置し、児童生徒支援のための機関、家庭、学校の連携を図ります。

☆さわやか相談員配置事業 ※各中学校に1名(計4名)

中学校における教育相談の一助として、身近な相談ができる相談員を相談室に配置し、生徒・保護者への相談対応や、同じ中学校区内の児童や保護者の相談にも対応します。



学びを補完する充実した補習事業

☆小学校・中学校補習事業

※年間約10回全校実施
小学校では、土曜日や長期休業日を活用した補習を実施し、児童の基礎学力向上を図るとともに、家庭学習の習慣や生活リズムを確立します。
中学校では、県や市の学力テストの分析結果など学校の実態を踏まえた学力向上対策を推進します。



☆北本市営ナイトスクール

※年間約20回実施
※教員OBや地域の方が講師
学校以外で学習する機会、わからないところを聞くことのできる機会を、希望するすべての中3生徒に保障します。

北本市の強みはここにも!

少人数学級編制(一人一人を大切にできるきめ細かな教育)

- ◎小学校1・2年生は30人程度
- ◎小学校3・4年生は35人程度

少人数学級を実施できる市費で雇用した教員を配置し、一人一人を大切にできるきめ細かな教育を行います。

全国平均と比較して際立って高い「学級満足度」

◎hyper-QU(楽しい学校生活を送るためのアンケート)の実施と活用

児童生徒の学習・生活状況と学級での意欲や満足度を把握し、学校における指導に生かしています。北本市の学校教育の成果の一つとして、「学級満足度」が全国平均と比較して際立って高くなっています。(小4…+5%、小5…+12%、小6…+18%、中1…+23%、中2…+22%、中3…+18%)